



<説明会>

# 日本語教育学会の 第3次中期計画の骨子について

公益社団法人 日本語教育学会  
会 長 西口 光一  
副会長 小澤 伊久美



# この動画の流れ

1. 第3次中期計画の背景
  - 第2次中期計画の点検・評価
2. 第3次中期計画の基本的考え方（骨子）
3. 第3次中期計画の具体的内容
  - 現在、話し合われていること

## 学会の使命

「人をつなぎ、社会をつくる」

## 目指す学会像

「共に集い、行動する学会」

## 学会の全体目標

- 日本語教育の学術研究を牽引し、研究者を育成する。
- 日本語教育の実践の創造と深化を共有し、実践者の育成を図って、学習環境を整備する。
- 日本語でコミュニケーションと相互理解を深め、人生を豊かにする。
- 日本語でともに生きる豊かな社会を創造する。

## 2013年に公益社団法人化



# 理念体系—使命・学会像・全体目標・2015-2019 年度事業計画

## \*使命（ミッション）

学会は何のために存在するのか、学会が果たすべき社会的役割、責任とは何か、長期的視点に立って、最終的に達成したい根本的な目的は何か、を示すもの。

## \*学会像（ビジョン）

そうした使命を果たすために、学会はどのような組織でありたいか、学会の将来像を示すもの。

## \*全体目標（ゴール）・事業・組織・財政方針

本学会の使命を実現させるために、具体的に何をめざして何をするのかを示すもの。全体目標に基づき、事業・組織・財政についての基本方針が示されている。

## \*2015-2019 年度事業計画

上記の目標を達成するために、中長期的視点に立って策定される、具体的な事業目標・内容・方法を示すもの。これを踏まえて各年度の事業計画が策定される。



図 2.1 理念体系の構成

現在も継承

❖ 使命（ミッション）

❖ 学会像（ビジョン）

❖ 全体目標（ゴール）

❖ 事業・組織・財政方針

❖ 2015-2019 年度事業計画

## 理念体系策定の土台としたもの

1. 公益法人として遵守すべき事項
2. 本学会の定款
3. 3つの特別委員会の答申・報告書
4. 代議員・役員・歴代会長・事務局長らへのアンケート調査の結果



## 第二次中期計画 2021-2024

2021-2024 年度 事業・組織・財政実施計画



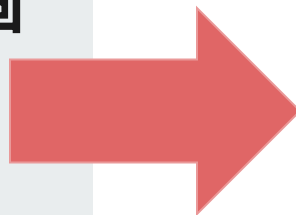
2021 年 3 月

公益社団法人日本語教育学会

1年間延長して  
2025年度までとなっている



**2024年度に第2次中期計画  
(2021-2025年度)  
の点検・評価を実施**



**第3次中期計画  
(2026-2030年度)  
を2025年度に策定**

**会員みなさま及び本学会に関心をお持ちの方もぜひご意見を**

## 第2次中期計画の点検・評価

第2次中期計画の執行状況について以下の方々の意見を聴取  
(外部評価者による参加型評価のワークショップも実施)

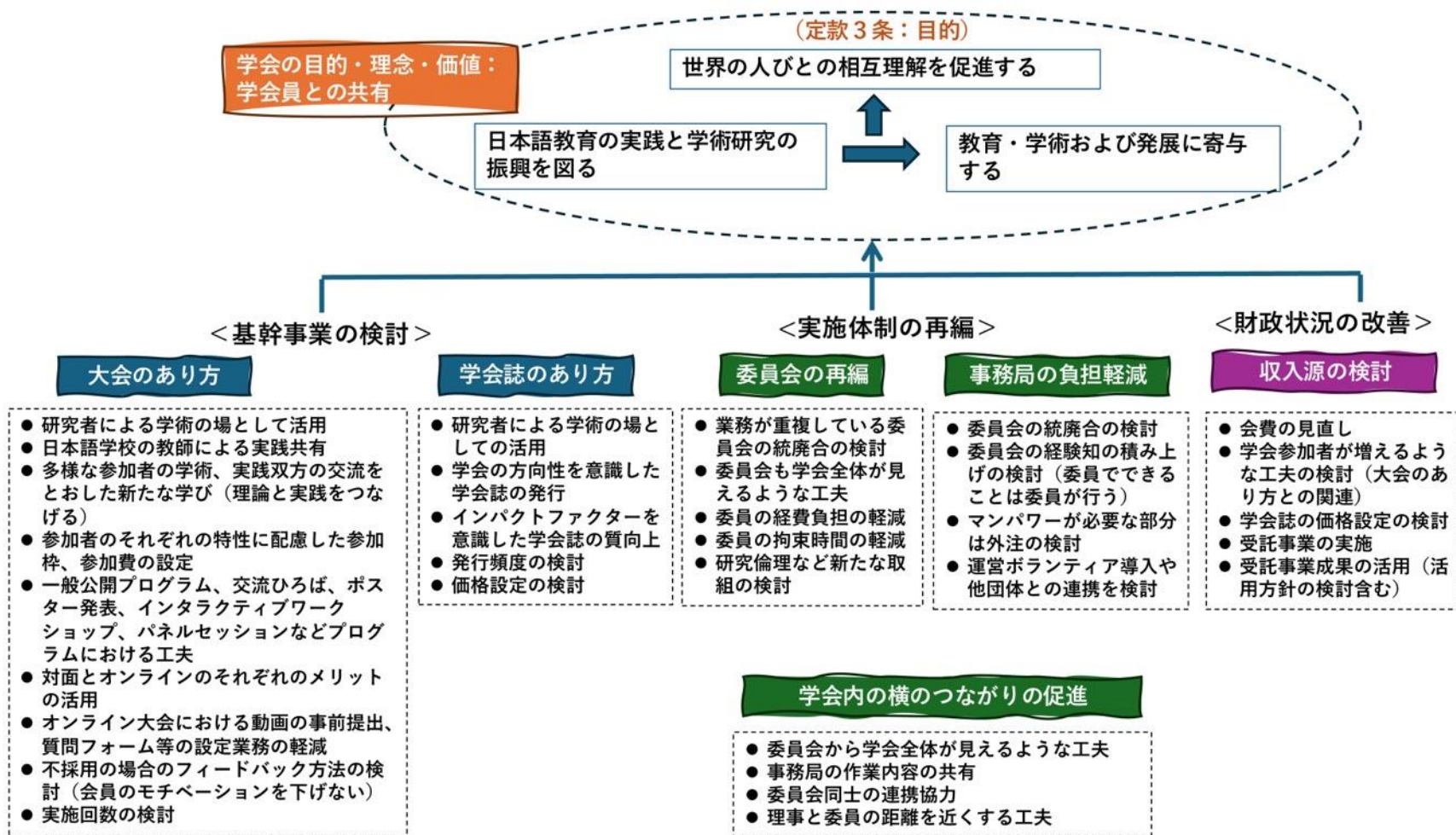
- 会員の代表である代議員
- 学会運営の中核を担う委員・理事・事務局員

\* 以下資料へのリンクも[報告書](#)内にあります

- 第2次中期計画に関する外部評価員の報告書
- 第2次中期計画に関する全委員長対象のワークショップの報告
- 第2次中期計画に関する代議員対象のワークショップの報告

## 「第2次中期計画の点検・評価の報告」（概要）

1. 学会の理念には賛同が得られている
  2. 事業実施状況についても概ね問題がない
  3. 運営面の負担が大きく、また、逼迫した財政が負担を増している
  4. 理念の実現に向けて、より多くの、そして多様な日本語教育関係者が集い、学び合う場としてさらなる発展が必要
  5. 学会全体の事業を俯瞰した事業再編や組織改革が必要
- 外部評価者より：学会としての理念、価値観を共有した上で、基幹事業を中心とした事業の整理、委員会の再編を行うべき



## 「第2次中期計画の点検・評価」を踏まえて

1. 課題解決とニーズへの対応の全てを短期間で行うことは難しい。
  2. 事業再編・組織改革を行って持続可能な運営の体制を早急に整え、  
長期的展望の基で、理念実現に向けた取り組みを行う必要がある。
    - a. 大会事業や学会誌事業を中心に検討する。
    - b. 事業以外の管理面も体制を整える。
- 第4次中期計画でのさらなる展開に備えた体制づくりを。

# 第3次中期計画の基本的考え方（骨子）

2025.3.20理事会承認

## Ⅱ 第3次中期計画の基本的考え方（骨子）

～理念実現のための事業再編と組織改革～

### 骨子Ⅰ： 第2次中期計画の点検・評価を踏まえた改革

第2次中期計画の点検・評価の結果、本学会の理念や全体目標は会員に広く共有され、事業の実施状況も概ね順調であることが確認された。一方で、各担当者の負担の増大と財政の逼迫が大きな課題として浮き彫りとなった。

この課題を解決し、理念の実現を加速させるため、第3次中期計画では事業再編と組織改革に取り組む。具体的には以下の4つの目標を掲げる。

- 1) 情報共有の強化と意思決定の迅速化  
理事会・委員会・事務局間の情報共有を強化し、適切かつ迅速な意思決定を可能にする。
- 2) 事業全体を俯瞰した上での事業の実施  
各事業担当者が本学会の全体像を把握しながら業務に取り組める体制を整える。
- 3) リスク管理の強化  
公益社団法人として適切なリスク管理などを適切に実施する。
- 4) 社会的潮流に対応する柔軟性の確保  
日本語教育を取り巻く環境変化に対応し、新たな事業を検討・実施する基盤を整備する。

### 骨子Ⅱ： 管理体制の整備と財政の健全化

第2次中期計画の点検・評価により、財政の逼迫が事業運営や管理体制に深刻な影響を及ぼしていることが明らかになった。特に、事業に比べて管理業務の現状や課題が理事・委員会が十分に把握していなかったことも判明した。しかし、財政逼迫の影響が大きくなるとともに管理面の課題が大きくなり、これを解決するには、事務局のみならず理事・委員会とともに管理体制を検討する必要があることがわかった。

そこで、第3次中期計画では業務執行理事を中心とした管理体制の改善に取り組む。具体的な施策として以下を実施する。

- 1) 理事・委員会・事務局間の連携強化  
情報共有の場を設け、理事や委員が運営管理に積極的に関わる仕組みを整える。
- 2) 財政の健全化のための情報共有と検討  
財務状況を開示するだけでなく、その意味するところを関係者が十分理解し、意見交換する体制を整える。また、持続可能な資金調達のために、会費や募金に頼るだけでなく、収益事業の導入を検討する。

### 骨子Ⅲ： 学びの場としての学会の発展

本学会が、より多くの、そして、より多様な日本語教育の関係者が集い、互いに学び合い、ともに成長する場となることが求められていることは、第2次中期計画の点検・評価の結果から明らかである。しかし、現状の組織体制や財政状況を踏まえると、短期間での実現は困難である。

そのため、第3次中期計画では以下を通じて段階的に学びの場としての基盤を強化する。

- 1) 大会事業の抜本的な見直し  
持続可能な運営形態を模索しつつ、参加者の多様化を促進し、新たな交流や学びの機会を提供する。
- 2) 第4次中期計画への布石  
第3次中期計画4年目に実施状況の点検・評価を総括し、第4次中期計画において解決すべき課題を抽出した上で、理念実現に向けて次の段階の取り組み策を検討する。特に、財政・運営の持続可能性と、本学会が、より多くの、そして、より多様な日本語教育関係者の学びの場となっているかを検証する。4年目にこれを検証し、総括するために、現状の共有と振り返りなどを適切なタイミングと内容で適宜実施する。

# 第3次中期計画の基本的考え方（骨子）

2025.3.20理事会承認

## ～理念実現のための事業再編と組織改革～

骨子Ⅰ 学びの場としての学会の発展

骨子Ⅱ 第2次中期計画の点検・評価を踏まえた改革

骨子Ⅲ 管理体制の整備と財政の健全化

## 骨子 I 学びの場としての学会の発展

本学会は、より多くの、そして、より多様な日本語教育の関係者が集い、互いに学び合い、ともに成長する場となることが求められている。

しかし、現状の組織体制や財政状況を踏まえると、短期間での実現は困難である。

そのため、第3次中期計画では以下を通じて段階的に学びの場としての基盤を強化する。

### 1. 大会事業等の抜本的な見直し

持続可能な運営形態を模索しつつ、参加者の多様化を促進し、新たな交流や学びの機会を提供する。

### 2. 第4次中期計画への布石

## 骨子Ⅱ 第2次中期計画の点検・評価を踏まえた改革

本学会の理念や全体目標は会員に広く共有され、事業の実施状況も概ね順調であるが、事業担当者の負担の増大と財政の逼迫が大きな課題であることがわかった。

この課題を解決し、理念の実現を加速させるため、第3次中期計画では事業再編と組織改革に取り組む。具体的には以下の4つの目標を掲げる。

1. 情報共有の促進と意思決定の迅速化
2. 事業全体を俯瞰した上での事業の実施
3. リスク管理の強化
4. 社会的潮流に対応する柔軟性の確保

## 骨子Ⅲ 管理体制の整備と財政の健全化

財政の逼迫が事業運営や管理体制に深刻な影響を及ぼしている。事業担当者である理事・委員会には、管理業務の現状や課題を事業ほど十分に把握することが難しかった。

財政逼迫の影響が大きくなるとともに管理面の課題が大きくなり、これを解決するには、事務局のみならず理事・委員会もともに管理体制を検討する必要がある。

第3次中期計画では業務執行理事を中心に管理体制の改善に取り組む。 具体的には以下。

1. 理事・委員会・事務局間の連携強化
2. 財政の健全化のための情報共有と検討

財政状況開示だけでなく関係者が十分意味を理解し、意見交換する体制を整える。

また、持続可能な資金調達のために会費や寄付だけでなく収益事業の導入を検討する。



## 現在、右の点を中心に 議論が進行中

2025年度中に具体案策定

1. 事業や委員会の再編・統合
2. 大会や学会誌の在り方再考
3. 事業以外の管理運営の検討

ご意見・ご質問等があれば  
ぜひお寄せください。

# 例1) 11の事業と所掌委員会の再編・統合

## 第3次中期計画では・・・

1. 事業全体を俯瞰して7つ程度に再編・統合
  - 重複整理、類似事業を統合するなど
  - 委員会を越えた情報共有や熟議を推進する会議の形態を検討
  - 新委員会は2027年6月始動予定
2. 事業化していないため対応が手薄なことに恒常的に対応する体制づくり
  - 対応する者と時間を予め設定



## 例2) 大会と学会誌の事業の見直し

### 大会：多様な人が集い、学び合う

1. より多様な参加者が集まり、交流
  - 春季大会を対面開催へ
    - i. 初日無料、二日目有料
    - ii. 交流する場所と時間の設計
  - 秋季大会はオンライン開催へ
    - i. 研究中心にしてスリム化
    - ii. 事前動画提出なし
2. 運営負担を上げないための工夫
  - 2026春秋オンラインで準備時間捻出
  - 対面開催は2025秋の次は2027春へ

### 学会誌：さらなる学術研究の振興のために

1. より多くの人に読まれる（研究・実践を巡る議論が活性化され、研究成果の社会実装が促進される）学会誌へ
2. 査読や編集の負担を上げないための工夫

大会も学会誌も  
具体的な議論はまだこれから  
（ぜひ、ご質問・ご意見を）

# 説明会にぜひお越しください

事前質問はこちらから

<https://forms.gle/mbeWbtkBDfnq9nXv8>



説明会当日もぜひご参加ください

# 参考資料

西口光一・小澤伊久美（2024a）「日本語教育学会の現状とこれから（2024年度春季大会説明会動画）」

[https://www.nkg.or.jp/musubu/contents/kenkyu/20240625\\_2719297.html](https://www.nkg.or.jp/musubu/contents/kenkyu/20240625_2719297.html)

西口光一・小澤伊久美（2024b）「日本語教育学会の現状とこれから（2024年度秋季大会説明会資料）」

[https://www.nkg.or.jp/musubu/contents/kenkyu/20241128\\_2825444.html](https://www.nkg.or.jp/musubu/contents/kenkyu/20241128_2825444.html)

日本語教育学会（2015）「理念体系—使命・学会像・全体目標・2015-2019 年度事業計画」

[https://www.nkg.or.jp/.assets/rinen\\_2015-2019.pdf](https://www.nkg.or.jp/.assets/rinen_2015-2019.pdf)

日本語教育学会（2021）「第2次中期計画2021-2024：2021-2024年度 事業・組織・財政実施計画」

[https://www.nkg.or.jp/.assets/chukikeikaku\\_2021-2024.pdf](https://www.nkg.or.jp/.assets/chukikeikaku_2021-2024.pdf)

日本語教育学会（2025）「第2次中期計画の点検・評価の報告」[https://www.nkg.or.jp/.assets/chukikeikaku\\_2021-](https://www.nkg.or.jp/.assets/chukikeikaku_2021-2024_hyouka.pdf)

[2024\\_hyouka.pdf](https://www.nkg.or.jp/.assets/chukikeikaku_2021-2024_hyouka.pdf)

日本語教育学会 日本語教育学の構造化に関するワーキンググループ（2023）「日本語教育学の構造化—日本語教育と日本語教育研究の相互活性的なダイナミクス」[https://www.nkg.or.jp/hokoku/.assets/kouzouka\\_houkoku.pdf](https://www.nkg.or.jp/hokoku/.assets/kouzouka_houkoku.pdf)